



温泉なごみ会（薩摩川内市）

発表者：種田 弘二郎 氏

ご紹介いただきました「温泉なごみ会」の会長 種田 弘二郎と申します。

これから「温泉なごみ会」の活動について発表させていただきます。

活動を通して、「元気で笑顔の絶えない仲間づくり」を目指してのメインテーマで活動しております。

1 はじめに

薩摩川内市は、平成の合併で1市4町4村が合併いたしました。私たちの活動拠点は、薩摩川内市入来町中心地からやや北側に位置し、産業は主に農業で「稲作ときんかんの生産」が盛んです。温泉に囲まれた活動拠点です。

私たちの「温泉なごみ会」5集落周辺の風景です。手前に見えるのが、4年前にできた「温泉センター湯之山館」です。歴史ある温泉の町、この温泉に一度入れば忘れられない、良い泉質の温泉ですので、是非一度ご利用ください。



私たちはこのような温泉に囲まれて、生活環境は最適であり、空気は清々しく、水も美味しいし、これといった災害等もなく、我々高齢者にとっては、買物も便利で、住みやすく、安心して生活ができる地域です。

地域の概要ですが、本会は副田温泉街で5集落、世帯数約185戸数の自治会で成り立っています。これまで「温泉場西長寿会」という名前でしたが「長寿」という言葉が、若い人に抵抗があったり、若い会員を増やそうということで、平成30年度より「温泉なごみ会」と団体名を変え、現在、男性21名、女性21名、計42名の会員で活動中です。

おかげさまで先日、女性会員1名増えたところです。最高年齢が92歳で、男女1名ずつおります。

また、入来町にある「愛宕ピスタパーク」は、パラグライダーの発進基地展望所で、パラグライダーで飛ばなくても、良い景色を眺めることができ、観光客で賑わっているところですよ。



2 健康づくり活動

まず、活動の一つ目として、健康活動としてのおしゃべり交流サロンと位置づけ、毎回講師を招いての講話を年2回実施しております。健康体操を含め、カラオケなど。警察にも交通安全・事故対策等の講話をお願いしております。また、夏休み期間を利用して、毎年小学生との交流、食事をしながらのふれあい活動しております。グラウンドゴルフ大会・ペタンク大会へも参加しております。



3 友愛ふれあい活動



活動の二つ目は、友愛ふれあい活動として、これも年に2回、社会福祉協議会のバスを利用して研修を実施しております。1回目は鶴田ダムの見学に行きました。昼食時の宴は、おごじよ会が歌ったり、踊ったりして盛り上げました。

2回目は150周年記念のせごどん館へ研修に行きました。また、他の単老クラブとの交流会も、踊りやフラダンスなどでこちらも盛り上げました。

4 伝承芸能活動と社会奉仕活動

伝承芸能活動と社会奉仕活動の一環で、85年前からの伝承行事で、綱引きの綱練りが完成した写真です。伝承芸能活動と社会奉仕活動として、最も自慢できるのは、毎年10月に行われる十五夜の綱引き大会です。子どもから高齢者まで参加する、およそ85年前からの伝承行事で、楽しみのひとつです。当日、夜の綱引きに向けて、昼から綱練りを地域の方々と役員を中心に、共同作業で取り組んでおります。昔は、ごく当たり前だった綱引きでしたが、今では綱引きも珍しく、受け継ぐ時代になってきております。



綱練りの準備では、両サイドに分かれて練る作業をします。子供たちがドラム缶を楽しんで叩いて、綱引きを盛り上げているところです。綱の練り方は、薩摩川内市の大綱引きの練り方と全く同じです。



5 環境美化推進運動



環境美化推進運動として花の名所作り、年に2回、春には、夏に強いメキシコ産のアンゲロニアと、秋には、葉ボタンと決めて、それぞれ130本の植栽をしております。本会は平成30年度より、地域のコミュニティセンターの植栽、奉仕作業をして、2か所の花壇を受け持つようになりました。

1年中、花壇の植栽、手入れ、草取り、水かけ、まわりの草刈り作業等、見守りをしています。環境美化推進として、ポイ捨て拾い活動で、地域の巡回巡視を月に3～5回行っております。

6 おわりに

最後に、今後も引き続き増員対策として、会員全員が一人ひとりに声をかけ運動をし、ひとりでも多く入ってもらって、皆で和気あいあいと楽しみながら、健康増進と健康維持が保たれるよう、みんなと話し合いながら、活動していきたいと考えているところです。

以上を持ちまして、「温泉なごみ会」の発表を終わります。

ご清聴ありがとうございました。